



大人の遊び場

ガーデンデザイナーの多田欣也さんはミニチュア作家、細密画家などマルチ人間。昔からのコレクションも持ち込んだワンダーランドを展開。

土日祝日開館
入館無料



版画だらけ猫だらけの部屋

版画家の大野隆司さんのメッセージ性あふれる心温まる作品を展示。



双子の部屋

双子の姉妹が表現するノスタルジックな世界観「双子の部屋」。

そのほかにも…

- 地元本宿出身の画家・黛一子さんが、戦後華やかだった本宿の風景を描いた作品を展示。
- 画家の近藤征治さんが寄贈した50~100号の16点の絵画が廊下や教室に飾られている。
- 古くなった着物を活用する布リメイク教室を開催する上原孝子さんの作品を展示・販売する「絹の部屋」。
- ショッピングが楽しい売店もある。

※多目的ホールでは映画上映や講演会を実施。他に厄僧による説法や医師による健康相談室、手相鑑定。音楽イベントなども開催。



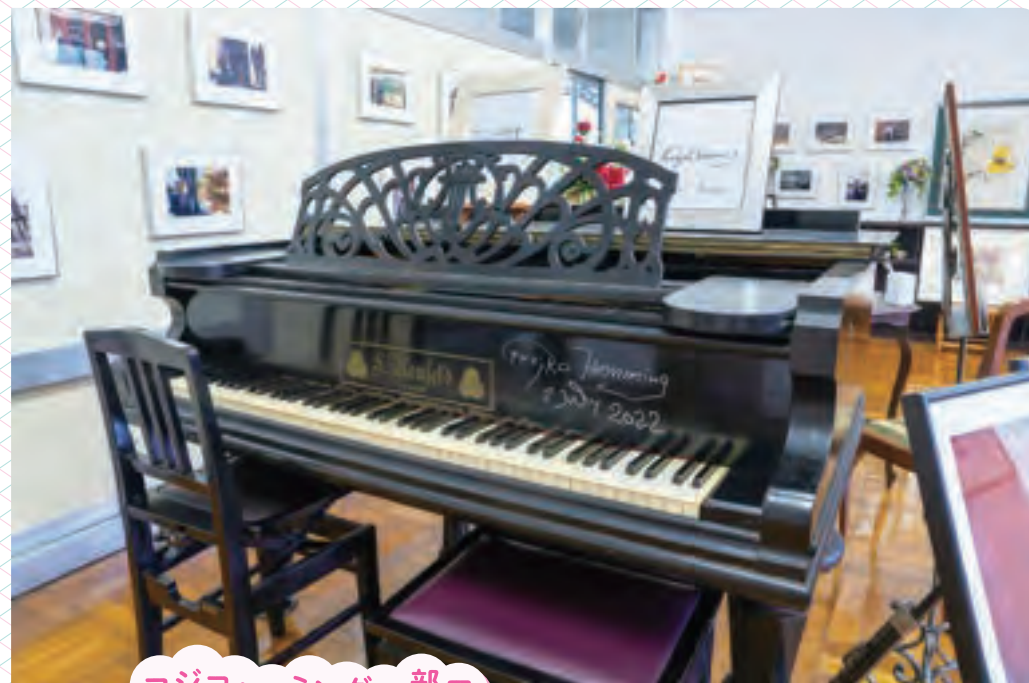
自然教室

地元下仁田町の宝・植物学者の里見哲夫さんの自然教室。森で見つけた自然の造形物に魅せられます。



子守唄の部屋

子守唄の父いわれる松永伍一さんの本と絵、資料を展示。
松永さんの研究の一部門である誓女(こせ)の部屋も併設。



フジコ・ヘミングの部屋

世界をまたにかけて活躍したピアニストフジコ・ヘミングさんは2024年4月に92歳で亡くなりました。生前に「私の人生に一番大切なことは小さな命に対する愛情や行為を優先させること。自分より困っている誰かを助けたり、野良一匹でも救ったりするために人は命を授かっているのよ」という言葉を残しています。

にしだてまじこ 理事長の西館好子さん

東京・浅草生まれ。1980年代から劇団の主宰や演劇のプロデュースで活躍。著作活動などを経て2000年に日本子守唄協会(現日本らばい協会)を設立。「ここを訪れた後、良いことが起こった」っていう人が多いの。不思議でしょ。偶然かもしれないけど、幸運を呼ぶラッキースポットと思えば楽しいでしょ。チャーミングな人柄が印象的。



フジコ・ヘミングのピアノが ステイタスシンボル

「ここにフジコ・ヘミングさんのピアノがあるととっても、誰も信じてないの」と明るく笑う理事長の西館好子さん。NPO法人日本子守唄協会では、子守唄を通して家族のありようを考え、虐待防止や子育て支援等の活動を続けています。
2021年に米国コカ・コーラ財団の援助を受け、下仁田町西牧の廃校を利用し女性村「ねぎぼうず館」を開設しました。世界的ピアニストのフジコ・ヘミングさんが愛用したピアノがステイタスシンボルになっています。
フジコさんと西館さんの出会いは3年ほど前。西館さんがホテルのロビーで女性の自立を支援する女性村を立ち上げた。

それぞれの感性や キャリアが光る展示

「近くを通る紅葉街道があまりにきれいで、桃源郷のようだと感じました」と、知人の紹介もあって西館さんは山間のこの場所を選びました。
3階建ての廃校舎には17の教室があり、10教室が稼働中。

シングルマザー村を手本に

女性村の理想像は、西館さんが50年ほど前に行ったオーストラリアのシングルマザー6人が暮らしていた村。「自家製のパンやピクルス、ジャムやケーキ、摘んだハーブの束などを屋台で売って生計を立てていました。お客様が増えたとピアガーデンを作りダンスをしたり、詩を詠んだり。みんな笑顔で自立している姿が素敵でした」と声を弾ませます。

女性の特性や心を養うことが子どもを育て未来を創ることになる。だからこそ女性の心の平安や癒しが大切。自然の中で時間を共有し心を潤す。自分の中にある力に気づき一歩を踏み出せる。そんな場所づくりにこだわります。
また、少子高齢化や自給自足の低下。温暖化による自然災害や地震、人間性の喪失による人災など、現代社会は常に危険にさらされています。「この辺に大きな浴場を作ろうと思うの。人はお風呂に入ってからさっぱりしたら、また生きる希望がわいてくるから。備蓄米もあるのよ」と話す西館さん。心身ともに危険にさらされている人の安全基地にもなりたいと、可能性を模索しながらチャレンジを続けています。



楽しい発見や好奇心が膨らむ
おすすめスポット
下仁田町の山間に開館した女性村「ねぎぼうず館」。世界的ピアニストのフジコ・ヘミングが愛用したピアノや自作の版画をはじめ、画家や版画家、詩人、ガーデンデザイナー、植物学者など様々な分野のトップランナーが作品やコレクションを展示しています。



女性村『ねぎぼうず館』

土日祝日開催!(10時~15時)
住所: 甘楽郡下仁田町西野牧4641-1
(旧西牧小学校)
問合せ先/NPO法人日本らばい協会
住所: 東京都葛飾区高砂3-13-13三浦ビル1階
TEL: 03-6458-0283